

各関係機関の長 殿

山形大学大学院医学系研究科長  
上野 義之  
(公印省略)

### 臨床看護学分野担当教員候補者の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本研究科看護学専攻では、下記のとおり臨床看護学講座の教授を公募することになりました。担当していただくのは、学部教育では臨床医学に関連する小児期から高齢期までの疾病論全般に関する科目に関わる科目です。また、大学院教育では特定行為を行う診療看護師、感染症、小児、老年等の各分野の専門看護師を養成するための高度な医学的見識と倫理観、十分な臨床経験により、臨床医学全般の教育責任を担うこととなります。

今後の医療・看護学のカリキュラムを創造的に改革し、専門領域について看護実践・教育に積極的に参加し提言できる意欲ある人材を求めています。

つきましては、御多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴職関係者に御周知いただくとともに、適任者がおられましたら御推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹言

#### 記

- 1 職種及び人員 教授 1人
- 2 所属 看護学専攻 臨床看護学分野
- 3 採用予定年月日 令和6年4月1日以降できる限り早い時期
- 4 担当授業科目 臨床医学全般に関する科目を担当する。
  - I 学部担当科目：疾病論、フィジカルアセスメント、臨床心理学、小児の発達と保健統合特別講義、卒業研究
  - II 大学院担当科目：（博士前期・後期課程）  
病態生理学、高度実践看護学特論・演習・実習、研究英語  
看護病態機能学特論・演習、精神看護学特論・演習・特別研究、  
高齢社会看護学特別研究  
高齢社会看護学特論、生涯生活支援看護学演習・フィールド実習、  
生涯生活支援看護学特別研究  
その他の授業科目については、相談の上調整する。
- 5 応募資格
  - (1) 医師の免許を有し、看護系学部・大学院教育における臨床医学全般の教授、および多職種連携の指針等について教授できること
  - (2) 博士の学位を有する者、又はそれと同等の業績を有すると認められる者
  - (3) 学部における担当授業科目の教育・研究を担当できる者
  - (4) 大学院における担当授業科目の教育・研究を担当できる者
  - (5) 高度実践看護師の教育を担当できる者

## 6 待遇等

採用時にテニユア審査が行われ、可とされた場合は、採用時から直ちにテニユア取得となります。

採用時審査で不可となった場合は、テニユアトラックとして任期は5年間となり、3年目もしくは5年目に学内規程に基づくテニユア審査が行われ、可とされた場合にはテニユアが付与されます。

※本学のテニユアトラック制度については、下記をご参照ください。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/recruitment/20201105/>

<https://www2.id.yamagata-u.ac.jp/recruit/>

### (1) 給与

国立大学法人山形大学年俸制（Ⅱ）適用職員給与規程による年俸制。  
経験等を考慮し、基本年俸を決定します。

### (2) 保険

文部科学省共催組合（健康保険・厚生年金）、雇用保険、労災保険

7 試用期間 6か月

8 提出書類

(1) 推薦書（様式適宜）	1部
(2) 履歴書（別紙様式1）	1部
(3) 業績一覧（別紙様式2）	1部
(4) 研究費受領状況一覧（別紙様式3）	1部
(5) 主要論文別刷	10編以内
(6) 教育、研究についての将来展望・方針	1部

（様式自由、A4判縦、1,000字以内）  
なお、(3)、(4)、(5)、(6)については、紙媒体及び電子ファイルを各1部提出お願いします。

9 公募締切日 令和6年1月9日（火）17時必着

10 面接及びプレゼンテーション 日時はおってお知らせします。

11 書類提出先 〒990-9585 山形市飯田西2丁目2-2  
山形大学大学院医学系研究科長宛  
（封書には「臨床看護学担当教員公募書類在中」と朱書のこと。）

12 問い合わせ先 山形大学飯田キャンパス事務部総務課人事・労務担当（人事）  
TEL 023-628-5005  
E-mail [yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp](mailto:yu-isojin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)

### 13 その他

山形大学では全学をあげた男女共同参画の推進と、ワークライフバランスの実現に取り組んでいます。本学には、小白川キャンパス保育所、医学部保育所・病児保育室など、各キャンパスに保育支援制度があり、子育て支援が充実しています。

また、ダイバーシティ研究環境実現のために、研究継続支援員制度、学会参加時の保育支援制度はじめ、女性研究者の活躍を支援する制度を整えています。詳細については、下記URLをご覧ください。

山形大学ダイバーシティ推進室 <http://www.yamagata-u.ac.jp/kenkyu/danjo/>

(様式1)

履 歴 書

(令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日現在)

ふりがな 〇〇 〇〇 〇〇 〇〇  
 氏 名: 〇 〇 〇 〇 〇 昭和 32 年 (1957) 〇 月 〇〇 日生 (〇〇歳) 男  
 (旧姓名: 〇 〇 〇 〇)

所属・職種: 〇〇大学〇〇学部〇〇学第二講座・准教授  
 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇  
 電 話: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 (直通) FAX: 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇  
 メール: 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇-u.ac.jp

現 住 所: 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇-〇〇-〇〇〇号室 本籍: 〇〇〇県  
 電話: 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

学 歴: 昭和 57 年 (1982) 〇 月 〇〇 日 〇〇大学医学部医学科卒業  
 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 〇〇大学大学院医学研究科医学専攻入学  
 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 同 上 修了

免 許 等: 昭和 57 年 (1982) 〇 月 〇〇 日 医師免許 (第 〇〇〇〇〇〇 号)  
 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 厚生省 〇〇〇〇〇〇 資格認定医 (第 〇〇〇〇 号)  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 日本 〇〇 学会認定 〇〇 医 (第 〇〇〇〇 号)  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 日本 〇〇〇〇 学会認定指導医 (第 〇〇〇〇 号)  
 学 位: 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 医学博士 (〇〇大学), または博士 (医学) (〇〇大学)

職 歴: 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 国立 〇〇 病院医員 (研修医) (外科)  
 昭和 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 同上 辞職  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部助手 (〇〇学第二講座)  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 同上 辞職  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇県立 〇〇 病院 (〇〇部)  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 同上 辞職  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 米国 〇〇〇〇〇〇 大学研究員 (〇〇学)  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇〇 日 帰国  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部附属病院助教 (〇〇部)  
 平成 〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部講師 (〇〇学第二講座)  
 平成 〇〇 年 (〇〇〇〇) 〇 月 〇 日 〇〇大学医学部准教授 (〇〇学第二講座)  
 現在に至る

所属学会等: 日本 〇〇 学会 (評議員: 平成 〇 年 ~ 現在)  
 日本 〇〇〇 学会  
 日本 〇〇〇〇 学会 (評議員: 平成 〇 年 ~ 現在)

賞 罰: なし



記載例

公募による研究費受領状況

(過去10年間)

氏 名:

年 度	種 目 (代表・分担の別)	研 究 課 題 名
2020	文部科学省科学研究費補助金 (萌芽) (代)	△△△△に関する研究
	〇〇生命厚生事業団助成金 (代)	▽▽▽▽に関する研究
2017	文部省科学研究費補助金 (基盤B) (2017年度~2019年度) (分)	□□□□に関する研究
	厚生省〇〇〇〇研究助成金 (2015年度~2017年度) (代)	〇〇〇〇に関する研究
	〇〇〇〇記念医学振興財団助成金 (代)	◇◇◇◇に関する研究